



地域フィールドワークで篠向城の魅力発見！

8月2日（金）の第2回学校運営協議会は、教材開発を兼ねて、「篠向山を愛し城址を大切にする会」より講師を6名お招きし、学校運営協議会委員の皆様と教職員で、篠向山に登りました。（途中まで車で…）地域巡りは、昨年度に引き続き、第2回目でした。講師の方から、篠向城について詳しく学ぶことができました。川東小の校歌にも『♪ささぶきの～古城の麓～♪』と出てきます。きっと昔から川東の人々にとっても身近な存在だったのだと思います。



三ノ丸跡



三ノ丸から見下ろす西側斜面には、深い「竪堀」がいくつも見られました。敵が攻めてきたときに、横移動させない仕組みで、上から攻撃しやすい構造になっていました。



普門寺跡



天正10年（1582）に宇喜多氏の家臣で篠向城主 江原親次（えばらちかつぐ）の祈願所として再建されました。昭和2年（1927）に、現在の平松地区に本堂と墓を移し再建されました。



本丸からの景色



419mの篠向山山頂にある本丸跡からの眺めは最高でした。眼下に米来小学校や目木の田んぼがあり、遠くに摺鉢山などの山並みが見えました。



本丸跡



「篠向山を愛し城址を大切にする会」講師の中尾秀正様、豆原義重様、山根武様、根本章様、鈴木節男様、二宗貴志様には、大変お世話になりました。

暑い中、講師の中尾様をはじめ皆様方、大変ありがとうございました。地域の歴史を深く知ることができ有意義な時間となりました。今後、子どもたちの学習に生かされることを期待しています。